



2022年

6月

中国四国農政局  
岡山県拠点

## 「有機栽培で持続可能な農業を」おかやまオーガニック（岡山市） ～中国四国地域未来につながる持続可能な農業推進コンクールで受賞～

岡山市北区で化学肥料や農薬を使わずにお米や野菜を栽培する有機農業グループ「おかやまオーガニック」が、農林水産省が主催する「令和3年度未来につながる持続可能な農業推進コンクール」の有機農業・環境保全型農業部門で、中国四国農政局長賞を受賞されました。

おかやまオーガニックは平成7年にグループの現代表の川越さんが、家族の介護のために東京から当地区に帰郷し、家族の健康のことを思い、近隣の農家から有機農業を学び始めたことが有機農業への入り口となり設立されました。

川越代表は、「どうせやるなら徹底的に、当地区を有機農業の産地にしたい」との思いから、仲間づくりを進め、県や市の新規就農育成制度を活用し、農外から新規就農者を4名受け入れるとともに、就農と同時に有機農産物の生産に取り組める体制を構築するなど、産地の拡大に尽力されています。

おかやまオーガニックは「有機JAS規格」と、有機JAS規格よりもさらに厳しく取得が難しいとされる「おかやま有機無農薬農産物」の認証を取得し、6人が2.2ヘクタールで野菜など約60品目の少量多品目を年間を通して栽培されています。



おかやまオーガニックの少量多品種圃場

販路は、各農業者が各自でレストランや宅配、小売店などに販売していますが、生産量の確保が足りないことがあれば全員でフォローするなど、困り事には協力する「ゆるい連携」がグループの特徴となっています。

さらに、より多くの実需者や消費者に知ってもらうために平成29年にホームページを開設し、全国からの受注をしています。また、これまで廃棄されていた規格外野菜などを煮込んで作るベジタブルブロス（有機野菜だし）やしそジュースなどの加工品も開発し、経営の安定にも努められています。

このような少量多品目の周年出荷や野菜だしの6次産業化などで安定した有機農業経営を確立した取組などが評価され、今回の受賞につながりました。

川越代表は、「有機農業は手間暇がかかるが、皆さんに美味しい野菜を食べて欲しいとの思いで頑張ってきた。これからも有機農業を志す者を積極的に受け入れ、当地区が有機農業の拠点となるよう産地の振興に尽力したい。」と思いを語られました。

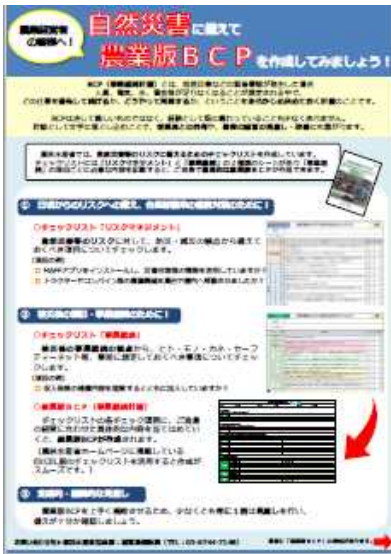
おかやまオーガニックのHPはこちら  
<https://okayama-organic.jp/>



おかやまオーガニックの川越夫妻

## インフォメーション

### 自然災害等のリスクに備え、農業版BCPを導入しませんか！



近年、自然災害（台風・大雪）などが多発しており、農林水産関係の被害額も増加傾向にあります。こうした中、農業者の皆様が自然災害などへの備えに取り組みやすいものとなるよう、「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版BCP（事業継続計画書）」フォーマットを作成しました。

このチェックリストと農業版BCPは、

- ・自然災害などのリスクに対する備えの意識やMAFFアプリなど自然災害などに係る注意喚起システムへの関心を高める
- ・台風被害などの軽減のための取組事例など(災害の教訓)の提供
- ・農業保険などセーフティネットへの加入の契機とする

ことを目的に作成しています。

自然災害などの緊急事態に遭遇した場合に、事業資産の損害を最小限にとどめ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために作成するのが農業版BCPです。ぜひこの機会に平常時に行うべき活動や緊急時に行う事業継続のための方法、手段などを予め取り決めておく農業版BCPを作りましょう！

・詳しくは、こちらをご覧ください（農林水産省ウェブページ）。

[https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff\\_bcp.html](https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html)

### おかやま農業女子が自慢の岡山県産農畜産物を販売します！

令和4年4月24日（日）、おかやま農業女子が岡山市表町商店街で開催された「つながる市」へ出店し、バナナやミニトマト、葉物野菜など、自慢の岡山県産農産物などを販売しました。

また、令和4年5月29日（日）、アリオ倉敷 屋外ステージにも出展し、にぎわっていました。

つながる市は、地域とお店のつながりを育むことをコンセプトとして、無印良品（株式会社良品計画）が主催する市場で、月に1回程度、岡山市会場や倉敷市会場で開催されています。

次回のつながる市にもおかやま農業女子が出展します。皆様、お近くへお越しの際はぜひお立ち寄りください。

- ・日時：令和4年6月19日（日）11:00～16:00
- ・場所：岡山市表町商店街

おかやま農業女子事務局

【お問い合わせ先】中国四国農政局岡山県拠点：TEL(086)899-8610



農業女子が作った岡山県産農産物

©「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0927 岡山市北区西古松2丁目6-18 西古松合同庁舎3階

TEL (086)899-8610 FAX(086)899-8611 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>